

7 月 定 例 教 育 委 員 会 会 議 議 事 録

令 和 2 年 7 月 2 9 日
午 後 2 時 3 0 分 開 会
市 役 所 中 層 棟 4 階 全 員 協 議 会 室

出 席 委 員

原 田 勝 教 育 長
和 泉 愼 次 委 員
福 田 知 弘 委 員

谷 口 学 教 育 長 職 務 代 理 者
安 達 友 基 子 委 員
和 田 光 代 委 員

出 席 説 明 員

橋 本 敏 子 学 校 教 育 部 長
堀 哲 郎 学 校 教 育 部 次 長 教 育 総 務 室 長 兼 務
植 村 誠 教 育 政 策 室 長
中 井 建 志 学 校 教 育 室 参 事 ・ 指 導 主 事
畑 田 将 寿 学 校 教 育 室 主 幹 ・ 指 導 主 事
前 田 洋 平 学 校 教 育 室 主 幹 ・ 指 導 主 事
藤 井 大 輔 教 育 セ ン タ ー 主 幹 ・ 指 導 主 事
園 田 章 教 育 セ ン タ ー 主 幹 ・ 指 導 主 事

大 江 慶 博 教 育 監
中 西 多 恵 子 学 校 教 育 部 次 長 学 校 教 育 室 長 兼 務
木 谷 美 香 学 校 教 育 室 参 事 ・ 指 導 主 事
櫻 井 仁 之 学 校 教 育 室 主 幹 ・ 指 導 主 事
川 添 龍 次 学 校 教 育 室 主 幹 ・ 指 導 主 事
向 垣 内 純 平 学 校 教 育 室 主 幹 ・ 指 導 主 事
坂 下 剛 教 育 セ ン タ ー 主 幹 ・ 指 導 主 事
加 藤 弘 靖 教 育 セ ン タ ー 主 幹 ・ 指 導 主 事

記 録 者

市 川 泉 教 育 政 策 室 参 事

7 月 定 例 教 育 委 員 会 会 議 議 事 録

午後 2 時 3 0 分 開 会

原田勝教育長

ただ今から 7 月定例教育委員会会議を開催いたします。

署名委員に安達委員を指名いたします。

記録者に市川教育政策室参事を指名いたします。

本日の傍聴席の数について事務局から説明してください。

植村誠教育政策室長

本日の傍聴席設置数は 3 0 席で、現在の傍聴希望者数は 3 2 名でございます。会場に若干の余裕がありますので、2 名、席を追加することは可能と考えております。

原田勝教育長

それでは、本日の傍聴は 3 0 名とお知らせしておりましたが、2 名の追加が可能ということですので、3 2 名まで許可したいと思いますが、いかがでしょうか。

全委員

異議なし。

原田勝教育長

異議なしと認め、本日の傍聴は 3 2 名まで許可します。

—傍聴者入室—

原田勝教育長

本日は、令和 3 年度使用教科用図書の採択をいたしますので、まずは、事務局より、教科用図書の選定に関して全般的な説明をしてください。

木谷美香学校教育室参事・指導主事

令和 3 年度使用教科用図書選定の全体の流れについて、御説明申し上げます。

選定につきましては、吹田市義務教育諸学校教科用図書選定委員会に対し、吹田市教育委員会より令和 2 年 5 月 1 8 日に諮問を行いました。選定委員会、中学校の校長会、教頭会、中学校教育研究会、吹田市 P T A 協議会のそれぞれの御代表から構成される、教科書採択に係る附属機関でございます。教育委員会からの諮問内容は、令和 3 年度使用教科用図書（中学校用）について、種目ごとの調査結果を答申すること、令和 3 年度使用の学校教育法附則第 9 条に規定される教科用図書について、検討のうえ、意見を答申することでございます。

この諮問を受けまして、選定委員会は、それぞれの分野に調査員をおいて、調査研究を行い、公正な選定に努めること、人権尊重の趣旨を基本的に踏まえること、に留意しながら、慎重に審議を重ね、7 月 1 3 日に教育委員会へ答申が提出されたところです。答申につきましては、資料を御覧ください。

答申時には、公正な選定に努め、目標・内容の取扱い、人権の取扱い、内容の程度、組織配列、創意工夫、補充的・発展的な学習の 6 つの観点に留意したとの報告がありました。

また、今回の採択は、中学校の学習指導要領の改訂を踏まえての採択となります。今回の学習指導要領の改訂におきましても、これまでの「生きる力」の育成という目標に変わりはなく、学校のミッションを改めて考え直し、さらに教育課程の編成を通じて、具体化することが重視されています。社会の

変化に受け身で対応するのではなく、主体的に向き合って関わりあい、自らの可能性を発揮し、多様な他者と協働しながら、よりよい社会と幸福な人生を切り拓き、未来の創り手となるために必要な力を育むことを目指し、身に付けたい力の明確化が図られました。

新学習指導要領の中では、育成を目指す資質・能力として、「何ができるようになるか」という観点が明確に示され、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力・人間性等」の3つの柱として整理されました。この3つの柱の要素を互いに関連させながら、子供たちが、どのように学ぶのか、また、学んだことをどのように活用していくのか、といった学びに向かう力を育成していくことに重点が置かれております。

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら、すべての教科で、3つの柱に基づく子供たちの学びを後押しし、社会に出てからも、学校での学びを活かせるよう、「主体的、対話的で深い学び」の実現を目指し、各教科書発行者において改訂が行われております。

以上、簡単ではございますが全体の流れということで、御説明をさせていただきました。

原田勝教育長

事務局から教科書採択全般についての説明がありましたが、この件について、何か御質問はございませんでしょうか。

福田知弘委員

今回の中学校の教科書採択の中で16種目あがっているのですけれども、この中で特別の教科 道徳についてもあがっておるのですが、こちらもう一度採択を行うということでよろしいでしょうか。

木谷美香学校教育室参事・指導主事

特別の教科 道徳につきましては、平成30年度にも採択が行われたところでございますが、2年間はその教科書を採択しなければならないということになっております。令和元年度、令和2年度の2年を経て、各発行者、前回の採択時と変更している点もあり、今年度新たに採択を行うこととなります。

和泉慎次委員

今回の教科書採択に関しまして、学校現場の先生方の意見というものはどのように反映されているのですか。

木谷美香学校教育室参事・指導主事

全種目におきまして、校長、教頭、首席、指導教諭を含む、専門的な視点を持つ3名の教員を調査員として委嘱し、調査研究をしてまいりました。また、教科用図書展示会を中学校8校で行い、調査員以外の教員につきましても、教科用図書を閲覧する機会を設けた上で、各種目につき各校1名ずつの参加者による、意見交流会を行いました。その際の意見は調査活動の参考とさせていただきます。

谷口学教育長職務代理者

市民の方も非常に教科書の選定に関しては御興味があるというふうに思うのですけれども、こちらで御意見等も集約して見せていただいているのですが、教科書を見られる場所の保障というのはきっちりできたのでしょうか。

木谷美香学校教育室参事・指導主事

5月26日から7月1日まで、教科書センターである男女共同参画センターと、山田駅前図書館、さんくす図書館で展示を行いました。吹田市内の8中学校においても、閲覧できるようにし、これらの情報につきましては、吹田市のホームページ、市報で周知を図ってまいりました。

なお、社会（歴史的分野）及び社会（公民的分野）に一部、男女共同参画センター及び図書館でしか閲覧できない見本本がございました。これは、発行者から提供された閲覧の見本本の数に限られていたことによるものでございます。

安達友基子委員

今、市民の方の閲覧のことについて説明いただきましたけれども、例年、市民や保護者の意見も集約していただいていたと思います。今回、どのような内容で何件ぐらいの意見があったのか、また、その意見は、選定委員会においてどのように反映されたのかについて説明してください。

木谷美香学校教育室参事・指導主事

先ほど申し上げました11か所で、自由記述形式で、意見箱による御意見の集約を行い、合計183件の御意見をいただきました。

内容につきましては、社会（歴史的分野）、社会（公民的分野）と特別の教科 道徳について、特に多くの意見をいただきました。

内容は、「平和、人権、共生」を方針として編集された教科書が採用されるべきという御意見や、子供が自分で考える力を持つことができるよう、自分たちの未来について考える基礎を学んでほしいという御意見、多様な価値観を深め合うことが大切にされる授業であってほしいと願っており、そのために生かされる教科書を採択してほしいといった御意見をいただきました。

意見書につきましては、選定委員会に資料として提示しております。

また、選定委員会の中にも、保護者代表として、吹田市PTA協議会の方がおられ、保護者の視点、また教員の視点で、それぞれの教科書に対しての見方から意見を交換し、選定を進めてまいりました。

その他、各方面より要望書についても5通いただいております、こちらも選定委員会に提示しております。

和田光代委員

社会的にも影響を及ぼしている新型コロナウイルス感染症に関わって、教科書採択にも何か影響はありましたか。

木谷美香学校教育室参事・指導主事

学校では臨時休業が続いておりましたが、教科書採択事務につきましては、粛々と、例年どおりに進めてまいりました。教職員の意見交流会につきましても、2会場に分かれ、密を避ける形式で無事に実施することができました。

緊急事態宣言中は、教科書展示の会場となる図書館の閉館が心配されましたが、緊急事態宣言が解除され、展示を行うことができました。しかし、図書館の開館にあたり、感染防止対策の観点から、閲覧時間の制限や、閲覧についてのルールを設けざるを得ず、閲覧を御希望される市民の皆様に御不便をおかけいたしました。ですが、その中でも、昨年同様、多くの御意見をいただきました。

原田勝教育長
全委員

教科書採択全般に関わって、他に何か御質問はございませんでしょうか。
質問なし。

原田勝教育長

それでは、議案審議に入ります前に、本日の議事運営につきまして私から御説明いたします。

この後、議案審議に入りましたら、まず、担当説明員より、選定委員会からの答申について説明を受けます。御審議をいただいた後、委員お一人ずつ意見を表明していただきます。

原田勝教育長

櫻井仁之学校教育室主幹・指導主事

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第4項に基づき、出席者の過半数に達した教科用図書を採択いたします。過半数に達していない場合は、過半数に達するまで議論を尽くしていただきます。また、同規定により、可否同数の場合は教育長の決するところにより、議事を決します。

それでは、日程第1 議案第53号「吹田市令和3年度使用教科用図書中学校用（国語）の採択について」審議及び採択を行います。

事務局の説明を求めます。

日程第1 議案第53号「吹田市令和3年度使用教科用図書中学校用（国語）の採択について」御説明申し上げます。

答申の5ページを御覧ください。別表1－1、令和3年度使用教科用図書（中学校用）国語の選定具申の発行者順に御説明しますので、よろしくお願いいたします。

各発行者とも、1年生の教科書を御覧いただきながら、学び方の説明を中心に進めていきたいと思えます。

最初に、東京書籍について御説明いたします。

96ページを御覧ください。東京書籍では、身近な場面を漫画で描いた「学びの扉」で、課題に気づかせます。続いて、230ページを御覧ください。

「学びの扉」で課題に気づかせた後に、「学びを支える言葉の力」で基礎力を鍛えます。104ページを御覧ください。「学びを支える言葉の力」で鍛えた基礎力を、次の教材の「言葉の力」で生かし、単元の学習内容に取り組みます。そして、「読む」領域で身に着けた「言葉の力」を、「書く」領域や、「話す・聞く」の領域で生かすという構成にすることで、今の時代に求められる資質、能力を身に付けられるよう工夫されております。

また、挿絵や見出しの配色は、全体的に淡く、柔らかくなっており、生徒は落ち着いて取り組むことができます。さらに、1年の前半の教材につきましては、文章量をおさえ、小学校と同じ大きな活字で示すなど、中1ギャップに配慮した内容になっているのも特徴的でございます。

次に、三省堂です。

76ページを御覧ください。「読み方を学ぼう」や、74ページを御覧ください。「思考の方法」など、国語科の学習のみならず、他教科や社会生活で活用できる「学び方」を学ばせ、その習得した学び方を、見通しをもち自覚をもって活用させることにより、確かな力を身に付けられるよう工夫されております。

30ページを御覧ください。「話すこと・聞くこと」の領域では、活動の形式を明確にすることで、生徒が目的意識をもって取り組めるよう工夫されております。「グループディスカッション」を各学年の第一単元に設け、話し合いを効果的に進めるための「こつ」を学習させることにより、話し合いの質を高める工夫がされております。

27ページを御覧ください。新出漢字では、欄外に教材で扱われている漢字を配し、教材の最後で改めてそれらをまとめ、教材で扱われていない熟語を掲載することで知識量も増え、社会での活用能力が育成されるよう工夫さ

れています。

次に教育出版です。

18ページを御覧ください。教育出版では、教材の学習に入る前に、「学びナビ」を配置し、読み方や観点、内容を正確に把握するための方法などを提示することで、生徒が見通しをもって、自主的・計画的に学習活動に取り組むことができる構成になっています。新学習指導要領では、「何ができるようになるか」、つまり、「どんな力が身につくか」を求められています。「学びナビ」は、「読み方」から学び始めることにより、汎用的な読む力を形成していく手立てになるよう工夫されています。

186ページを御覧ください。「学びのチャレンジ」では全国学力・学習状況調査やPISA調査などを踏まえ、これからの社会に求められる読解力・表現力を育成する問題を掲載しているのも特徴的です。

最後に光村図書出版です。

28ページを御覧ください。光村図書出版では、学習過程を提示し、重点を置く過程を強調することにより、生徒が見通しをもち、自己調整しながら主体的に学習できるような構成になっています。また、「学習の扉」では、汎用的な読みのポイントを図解とともに示したり、学習で用いる言葉が使用語彙になるよう取り立てて示したりするなどの工夫がされています。

214ページ・215ページを御覧ください。「漢字に親しもう」、「文法への扉」では、生徒が漢字や文法に親しみやすいようイラストを効果的に配置しています。また、練習問題も豊富に収録されており、知識の定着を図るための工夫がされています。

原田勝教育長
福田知弘委員

それでは、審議に入ります。御意見、御質問はございませんか。

「読むこと」の領域に取り上げられている教材につきまして、生徒の学ぶ意欲が高まるような工夫は各者どのようになされているか、説明してください。

櫻井仁之学校教育室主幹・指導主事

各発行者さまざま工夫されていますが、三省堂は文学的文章については読む楽しさを味わえる作品、優れた表現をもつ作品、生徒に身近で取り組みやすい作品を取り上げ、また、発達段階や学習の系統性を配慮して配列することによって、生徒の学ぶ意欲を喚起するように工夫されています。

また、光村図書出版では「しんしゅん」、「アイスプラネット」など、登場人物が学習者の年齢と近く、親近感をもって接することができる教材が多く配置されているのが特徴的です。

和泉愼次委員

古典に興味をもてるように、各発行者において古典や伝統的な言語文化の扱いにどのように工夫がされているのでしょうか。

櫻井仁之学校教育室主幹・指導主事

特徴的なのは東京書籍、教育出版で、古典の導入において、なじみの深いおとぎ話が配置され、抵抗なく学習に入っていけるよう工夫されています。

また、三省堂では、古文を読む知識をつける教材と、古典の世界観を大切にする教材を意識させることで、自主的に作品に向き合えるように工夫されています。

谷口学教育長職務代理者

国語科のみならず、他教科との関係とか、いわゆる日常生活の中でどのよ

櫻井仁之学校教育室主幹・指導主事

うに活用できるかということが非常に大切なことになってこようかと思うのですが、教材がどのようなかたちで提示されているか、その特徴がある教科書がありましたら説明してください。

三省堂では、他教科や社会生活で活用できる「読み方」、「考え方」、「話し合いのこつ」等、「学び方」を学ばせるよう工夫されています。

また、東京書籍は、基礎編の「学びを支える言葉の力」で、学んだことが他教科の学習や実生活にどう生きていくのかが具体的に示されているのも特徴的でございます。

安達友基子委員

読書活動の充実という視点から、読書であつたり本の紹介についての扱いについて各者どうなっているのか説明してください。

櫻井仁之学校教育室主幹・指導主事

各発行者さまざまに工夫されていますが、光村図書出版では教材末の「広がる図書」、さらに読書教材内の「本の世界を広げよう」というところで277冊に上る図書が表紙付きで紹介され、生徒の読書意欲を喚起する内容になっております。

また、三省堂は、作家が自身の読書体験を語る形式で図書紹介を行う「私の読書体験」を配しまして、読書の意義や効用についての理解を深められるように工夫されております。

原田勝教育長

他に何かございませんでしょうか。

質問が出尽くしたようですので、国語についての審議を終了いたします。

それでは、議案第53号「吹田市令和3年度使用教科用図書中学校用（国語）の採択について」の各委員の御意見をお願いいたします。

福田知弘委員

私は三省堂を選びたいと思います。

色々と工夫があるのですけれども、特に科学的、また、論理的な思考を養う教材がしっかりと用意されているということ、それからいくつかあるのですがあえて挙げるのであれば、メディアリテラシーに関する教材なども、他の教科とか社会生活の関係が学べるのではないかとということで、三省堂を選びました。

和泉慎次委員

私は三省堂を推薦いたします。

文学的な文章では読む楽しさ、また優れた表現を持つ作品が取り上げられておりますし、発達段階や学習の系統性を考慮して配慮されている部分も多く見受けられました。また、自然や環境についての取扱いも社会とのつながりを考える上では適切な教材が取り上げられているという理由でござい

和田光代委員

私は三省堂が良いと思います。

理由としましては、説明にもあったように、文学的文章で読む楽しさを味わえる作品、発達段階が考慮された配列になっているということと、他教科や社会生活でも活用できるという学び方・学ぶ工夫が、図解を取り入れて理解しやすくしてあるということから、三省堂が良いと思いました。

安達友基子委員

私は光村図書出版が良いと思いました。

理由としましては、やはり国語の教科書ですので、子供が文学的な作品や読み物を読んで考えを深めるような活動につながってほしいなと思うところ

ろ、先ほども説明があったように、図書の紹介がとても豊富であることに加えて、教科書自体に載っている教材というのも中身がとても考えられていて、全部の学年でちょうど夏休みの前くらいに学習するであろう教材が、平和学習につながるようなものになっていて、そこにとても好感を持ちました。子供に使ってほしいなと思いました。

谷口学教育長職務代理者

私は三省堂が良いのではないかと考えています。

国語の教科書を3学年分読んでみて、3年生の教科書に色濃くいろいろなかたちのところが出てくるのですけれども、三省堂の3年生の教科書に一つの教材として「フロン規制の物語」が88ページに記載されているのですけれども、この記載を読んでみて、いつも子供たちがいろいろなことを考え、社会に実践をもって生きていくことを考えると、非常に素晴らしい記事ではないかと思いました。

ただ、光村図書出版の3年生の教科書も非常に優れているところがありまして、例えば43ページに山極寿一さんが書かれた「作られた『物語』を超えて」というお話であったり、166ページの「誰かの代わりに」という鷲田清一さんが書かれた話も非常に良かったと思います。

やはり、フロン規制の話が、日常生活も含めていろいろなかたちでの子供たちが考える題材ではないかということも含めて、三省堂を推したいと思います。

原田勝教育長

私は東京書籍が優れていると思います。

4者とも良いのですけれども、先ほどの説明にもありましたように、第1学年の前半は、小学校と同じ大きさの大きな活字で中一ギャップに配慮した内容になっているということが非常に大きかったと思います。また、身近な場面を描いた「学びの扉」で課題に気付くことができ、全体的に挿絵やイラストの配色が柔らかくて、落ち着いて学習ができるのではないかと思った次第です。

原田勝教育長

それでは、議案第53号「吹田市令和3年度使用教科用図書中学校用（国語）の採択について」につきましては、三省堂を採択することといたします。

原田勝教育長

次に、日程第2 議案第54号「吹田市令和3年度使用教科用図書中学校用（書写）の採択について」審議及び採択を行います。

事務局の説明を求めます。

畑田将寿学校教育室主幹・指導主事

日程第2 議案第54号「吹田市令和3年度使用教科用図書中学校用（書写）の採択について」御説明申し上げます。

答申の7ページを御覧ください。別表1-2、令和3年度使用教科用図書（中学校用）書写の選定具申の発行者順に御説明しますので、よろしく願いします。

はじめに、東京書籍について御説明いたします。

34ページを御覧ください。毛筆学習と関連ある文字が、硬筆教材として配置されており、毛筆で学習した技能が硬筆に生かせるようになっております。また、書写で学習した知識や技能が他教科でも生かせるように、「情報を整理した書き方」などの教材を配列することで、書写で学習した知識や技能

を他の教科の学習に生かすことができるよう工夫されております。

次に、三省堂について御説明いたします。

76ページを御覧ください。名言集を取り扱うなど、国語の教科書で取り扱われる文学教材との関連性にも配慮されているとともに、書写に取り組む基本姿勢や用具の準備、筆記具の持ち方や点画に関しても詳細に説明されております。

また、教科書のサイズが比較的小さく、毛筆の学習の際などに、使いやすいサイズとなっております。

次に、教育出版について御説明いたします。

日常生活に関わる季節の行事や、手紙の書き方などの内容が学習できるようになっており、縦書きだけでなく横書きのノートの書き方についても取り上げられるなど、書写で習得した技能を様々な学習活動や日常生活に生かせるような工夫がされております。

43ページを御覧ください。このように、「気づいたことを書こう」という部分が教科書の各所に設けられており、生徒が学習した内容を振り返り、それが言語活動へつながるよう工夫されております。

最後に、光村図書出版について御説明いたします。

文字を書く機会が減っている中、硬筆の技能をより一層深められるよう、硬筆学習用のワーク「書写ブック」が取り外して使用できるようになっており、教科書への書き込みに加え活用することで、毛筆、硬筆ともにバランスよく学習することができるよう工夫されております。

また、98ページを御覧ください。ユニバーサルデザインの紹介や活用についても取り上げられており、今後の社会を見据えた指導を行えるような工夫がされております。

また、44ページを御覧ください。QRコードが提示されており、学習内容についてより知識を深められるよう、また、視覚支援や自主学習にもつながられるように配慮されております。

それでは、審議に入ります。御意見、御質問はございませんか。

生徒たちが興味を持てるようなかたちで、各発行者でいろいろな工夫がなされているかと思いますが、その中で特にどのようなところが目立ったかという意見があれば紹介してください。

各発行者、より身近なものを取り入れることによって、興味関心を持てるようにしております。特に光村図書出版では、QRコードが様々な場所に配置されておりまして、豆知識などを得ることができ、教育出版では、季節の行事と書写の関わりを、より生徒に近いものを取り上げることによって、興味関心を持てるようにしております。

書写で授業で培った技能というものをさらに日常の生活で役立てるために、各発行者はどのような工夫をしているのか紹介してください。

各発行者、後半の部分に「手紙」や「はがき」などの書き方を詳しく掲載しております。特にその中でも光村図書出版と教育出版は、時候の挨拶を手紙と併設して配置することによって、改まった手紙が書きやすくなっており

原田勝教育長
谷口学教育長職務代理者

畑田将寿学校教育室主幹・指導主事

安達友基子委員

畑田将寿学校教育室主幹・指導主事

	ます。
和田光代委員	書道の授業が苦手な先生への手立てとして、各発行者はどのような工夫をされていますか。
畑田将寿学校教育室主幹・指導主事	各発行者、すべての基本である姿勢や用具の使い方につきましては、写真等を用いて丁寧に説明されております。その中でも光村図書出版と三省堂につきましては、一番初めのところにQRコードを配置しておりまして、それを読み取ることによって、姿勢などをより丁寧に学ばせやすくなっております。
原田勝教育長	他に何かございませんでしょうか。 質問が出尽くしたようですので、書写についての審議を終了いたします。 それでは、議案第54号「吹田市令和3年度使用教科用図書中学校用（書写）の採択について」の各委員の御意見をお願いいたします。
福田知弘委員	私は光村図書出版が良いと思います。 理由はいくつかあるのですけれども、毛筆と硬筆がそれぞれ分けられていて学びやすい構成になっていること、それから文字の文化を出発点として、社会とのつながりというものを高める配慮がなされているということなどが挙げられます。
和泉慎次委員	私は光村図書出版を推薦いたします。 理由はいろいろあるのですけれども、教科書に書き込める部分が多いということ、また、硬筆の練習帳があり技術の向上ができる工夫がなされていること、QRコードが表示されており学習のポイントを視覚で支援することができる、こういった利点も多く見受けられます。
和田光代委員	私は光村図書出版が良いと思います。 理由としましては、教科書が小さくなっていて、実習を伴う教科なので使いやすいということと、日常生活で使うのは硬筆が非常に多いのですけれども、その技術を一層深めることができるということで、硬筆ブックや教科書にも書き込めるようになっているということから、光村図書出版が良いと思います。
安達友基子委員	私も光村図書出版が良いと思います。 理由としまして、今の子供たちはなかなか字を書くという機会も減ってきている中で、書写の授業というのはともすれば自分の生活とあまり関係ないようなふうに思われがちな種目・分野ですけれども、この光村図書出版の教科書であれば、手紙の書き方も丁寧に載っていたり、硬筆も書き込みができたり、それから中にユニバーサルデザインの紹介などもあって、ちょっと自分たちの生活にも引き付けて考えられるのではないかなと思ったので、これが良いと思いました。
谷口学教育長職務代理者	私も光村図書出版が良いのではないかと思います。 本自体が大きいので、東京書籍は非常に写真等が見やすいのですけれども、実際に使用するという事になってくると、光村図書出版の内容でも十分だと思います。QRコードはやはり優れていると思いますし、光村図書出版の最後のところが王羲之の書で終わっているのも、やはり書といえば最終

原田勝教育長

的には王羲之が代表的な人物であろうと思いますので、そういった人の書をお子供たちに提示しているというのは素晴らしいことだと思います。その中でも有名な一文を出していますので、光村図書出版が良いと思います。

私は光村図書出版が良いと思います。

教科書のサイズが他者に比べて比較的小さく、実習を伴う学習に使いやすいということと、何よりも書写ブックがついているので硬筆の指導がしやすいのではないかと考えております。また、先ほどもありましたが、学習のポイントとなるQRコードを活用して自習教材として使用できるということが大きいと考えております。

原田勝教育長

それでは、議案第54号「吹田市令和3年度使用教科用図書中学校用（書写）の採択について」につきましては、光村図書出版を採択することといたします。

原田勝教育長

ここで、教育委員会会議を午後3時26分まで休憩します。

－休憩－

原田勝教育長

教育委員会会議を再開いたします。

原田勝教育長

次に、日程第3 議案第55号「吹田市令和3年度使用教科用図書中学校用（社会（地理的分野））の採択について」審議及び採択を行います。

事務局の説明を求めます。

加藤弘靖教育センター主幹・指導主事

日程第3 議案第55号「吹田市令和3年度使用教科用図書中学校用（社会（地理的分野））の採択について」御説明申し上げます。

答申の9ページを御覧ください。別表1-3、令和3年度使用教科用図書（中学校用）社会（地理的分野）の選定具申の発行者順に御説明しますので、よろしくお願いいたします。

まず、東京書籍について御説明いたします。

1ページを御覧ください。東京書籍では、「環境・エネルギー」、「人権・平和」、「伝統・文化」、「防災・安全」、「情報・技術」の5つのテーマを巻頭で提示しており、現代的な諸課題を意識しながら学習を進めることができる構成となっております。

また、各節末や章末には、思考ツールを使った振り返りやまとめの活動が多く掲載されております。例えば、113ページを御覧ください。こちらでは、北アメリカ州について学んだことを振り返るためのツールとして、くらげチャートを使っております。思考ツールを使うことによって、生徒の思考が可視化されるため、生徒が考えを整理し、まとめることに役立ち、深い学びへ導くよう工夫されております。

また、地理学習の基礎的な知識・技能を形態的に習得できる「スキル・アップ」という項目があり、その中で、適宜演習等を設けることによって、学習に必要な技能を確実に定着できるような工夫がされております。141ページを御覧ください。第3編第1章では、「地域調査の手法」という単元を学びますが、地域調査の手法を、「情報を集める」から「発表する」まで体系的な配列で提示する中で、「デジタル地図の使い方」や「調査に役立つ資料を集める」のように「スキル・アップ」を効果的に設け、生徒が自ら考え、まと

めた調査内容を分かりやすく発表する力をつけることができるよう工夫されております。

次に、教育出版について御説明いたします。

教育出版では、様々な特設ページを設け、各章で学んだことをさらに深めることができるよう工夫されております。例えば、90ページを御覧ください。「地域から世界を考えよう」では、現在のアフリカについて、地図や気候、農業など多角的な観点から学んだあとに設けられる「アフリカの歩みと課題」で、アフリカ民族の言語からその歴史や他国との関係性にまで考えを深めることができます。

また、学習コラム「地理の窓」を通して、生徒の興味関心を広げ、学習をさらに深めることや、地図及びグラフの読み取り等の地理的技能の向上を狙った工夫がなされております。例えば、207ページを御覧ください。近畿地方について学習する中で、「地理の窓」が設けられ、学習内容を身近な生活と結び付けて考えるよう工夫されております。

また、全体を通して多様な価値観や文化に対する理解と寛容を育み、差別のない「ともに生きる・ともに創る」社会の実現を迫及する力が養われるよう配慮されております。

続きまして、帝国書院について御説明いたします。

巻頭6ページを御覧ください。帝国書院では、ページの上部にございますように、「未来に向けて」というコラムにおいて、地理の学習と関連付けて、アパルトヘイトの問題や、フェアトレード、近畿地方の在日韓国・朝鮮人の問題、関東地方の渡日ブラジル人など、多様な価値観や文化の共生をはかる人々の姿が具体的に上げられております。また、特に持続可能な社会をつくるために参考となる各地域の取り組みを紹介したコラムには、「SDGs」のロゴマークをつけ、現在及び将来の社会が直面する課題について解決するために、自ら取り組む意識を育むことができるような工夫がされております。例えば、69ページを御覧ください。「ベネツィアが沈む？」というコラムには「SDGs」の円形のロゴマークが付けられており、ヨーロッパの気候を学ぶとともに、現在直面している課題を知り、その解決に向けて思考を深めることができるよう工夫されております。

また、分かりやすく興味を引くイラスト地図も帝国書院の特徴の一つでございます。171ページを御覧ください。九州地方の地域の特色が概観できるイラスト地図や写真資料を章のはじめに配置し、生徒が意欲的に学習に取り組むことができるように配慮されております。

全体を通して、章・節ごとの単元を貫く問いが示され、生徒が課題意識をもって学習に取り組むことができるよう配慮されております。184ページを御覧ください。章末・節末には「章（節）の学習を振り返ろう」というページで単元の学習内容が構造化されてまとめられており、章や節で学習した内容を深める単元学習が確実に実践できるよう工夫されております。

最後に、日本文教出版について御説明いたします。

日本文教出版は、地域的特色の理解に必要な教材が系統的に配置され、コ

原田勝教育長
和田光代委員

加藤弘靖教育センター主幹・指導主事

和泉慎次委員

加藤弘靖教育センター主幹・指導主事

福田知弘委員

加藤弘靖教育センター主幹・指導主事

ラムや特設ページによって、生徒の学びが補完できるような構成となっております。192ページを御覧ください。近畿地方を例にとりますと、はじめに写真やクイズで興味・関心を引き出し、見開きごとに一つのテーマについて学び、それぞれのテーマについて「地理プラスα」で地理的な話題で知識を広げる工夫がされております。さらに「自由研究」のページで学習を深め、学習の振り返りを行うことができるよう工夫されております。

次に、267ページを御覧ください。第3編第4章「地域のあり方」では、地域調査を行う「自然と防災班」の調査を例にしながら、左下にありますように、視覚障がい者施設の人の話を取り入れ、バリアフリーの視点についても大切に紹介されております。

また、218ページを御覧ください。「チャレンジ地理」では、グループ学習を対話的に進めながら理解を深めることができるような内容となっております、生徒の思考力・判断力・表現力等の向上に配慮しております。

それでは、審議に入ります。御意見、御質問はございませんか。

地図や写真、イラストなどの資料の扱いについては、発行者ごとに工夫はありますか。

地図や写真、イラストの扱いにつきましては、各発行者ともに、視覚的に訴えるための配慮・工夫が見られ、写真資料などが豊富に掲載されております。

特に、帝国書院につきましては、さきほど御説明いたしましたイラスト地図とともに、観光名所の写真が多く取り上げられ、生徒の興味・関心を広げる工夫がされております。

また、日本文教出版につきましては、写真や資料、グラフなどがシンプルにレイアウトされており、資料と本文の区別がはっきりしているため、見やすい構成となっております。

吹田についての表記があるのはどの発行者ですか。また、どのように取り扱われていますか。

吹田につきましては、各発行者ともに記載がございまして、千里ニュータウンについて取り上げております。

特に、東京書籍、教育出版、日本文教出版の3者につきましては、千里ニュータウンの歴史的背景とともに、50年以上経つ現在における課題であったり、それに対して高齢者向けサービスや子育ての整備の充実について取り上げております。

また、教育出版につきましては、千里ニュータウンをピックアップして、コラムとして取り上げております。

学び始めがすごく大事だと思うのですが、入学して1学期の最初に学習する単位である時差とか気候帯、そういった取り扱いについて、各発行者でどのような工夫がされていきますか。

時差や気候帯など、1学期の当初に学習する単位におきましては、各発行者ともに特設ページであったりコラムなどを使って工夫を行っております。

特に、東京書籍につきましては、時差の調べ方について、「計算で調べる」

や「地図で調べる」というように様々な方法を提示しており、自ら方法を選んだり、新しい方法を考えたりすることができるよう工夫されています。

また、帝国書院につきましては、気候帯の説明において、温帯や熱帯を一覧で表示しており、その中で、説明や雨温図、写真などを一覧で表示することで、資料を関連付けながら見られるような工夫がされています。

原田勝教育長

他に何かございませんでしょうか。

質問が出尽くしたようですので、社会（地理的分野）についての審議を終了いたします。

それでは、議案第55号「吹田市令和3年度使用教科用図書中学校用（社会（地理的分野））の採択について」の各委員の御意見をお願いいたします。

福田知弘委員

私は帝国書院が良いと思いました。

理由は、世界の各地域の理解、これを通して、異文化とか多様な文化の理解ができるということ。それから、日本の各地域の理解を通して国土の理解が深められる、そういったような工夫がなされている。それから、写真や図版が大判で分かりやすいこと。なにより撮影の年だけではなく月が書かれていまして、同じ3月でも世界はこんなに違うのだなということまで理解ができるようになっていきます。そこまで教えるかどうかというのはありますけれども、主体的に学ぼうと思えばできるという工夫までなされているということで、帝国書院が良いと思いました。

和泉愼次委員

私は帝国書院を推薦したいと思います。

持続可能な社会を作るための参考となる、各地域の取組を紹介したコラムにはロゴマークのSDGsがつけられていますし、社会が直面する課題、これの解決のための意識を育むという工夫が随所に見られましたので、よろしいかと思います。

和田光代委員

私も帝国書院が良いと思います。

理由としましては、非常に興味を引き付けられるような大きな写真が掲載されていて、ここに行きたいなとか、ここはどんな国だろうということと、意欲的に学習ができるように配慮されているということと、持続可能な社会を作るためのコラムがたくさん取り上げられていまして、子供たちが意識をして育むことができるように工夫をされているということです。課題解決のために自ら取り組む意識を工夫されているということで、帝国書院が良いと思います。

安達友基子委員

私も帝国書院が良いと思いました。

理由としては、先ほど御説明いただいたなかにも出てきました「未来に向けて」というコラムがやはりとても秀逸かなと思っていて、とても内容が幅広く、朝鮮半島の問題であったり、平和記念都市広島、それから震災のことなども本当に幅広く扱われているうえに、その書きぶりが特定の評価に偏らなくて、子供が純粋に興味をもってどうということだろうと、そういった興味を持つ入り口になりうるものであって良いかなと思いました。

谷口学教育長職務代理者

私も帝国書院が良いと思います。

理由は皆様とほとんど同じなのですが、先ほどの説明にありました、

69ページの「『水の都』ベネツィアが沈む?」という1枚の写真が、いろいろな意味で訴えかけるものが強いのではないかなと。特にこれから持続可能な社会を実現するということも含めて、そういった意味で非常に優れた教科書になっていると思いますので、帝国書院を推したいと思います。

原田勝教育長

私は帝国書院を推薦いたします。

今までも各委員が言われていましたが、やはり、SDGsを意識した関係ページが非常に多くあるのが良いのと、地図、グラフ、コラムが見やすく、写真も多くあり、生徒たちが意欲的に学習に取り組めるよう配慮されていると感じましたので、帝国書院を推薦いたします。

原田勝教育長

それでは、議案第55号「吹田市令和3年度使用教科用図書中学校用（社会（地理的分野））の採択について」につきましては、帝国書院を採択することといたします。

原田勝教育長

次に、日程第4 議案第56号「吹田市令和3年度使用教科用図書中学校用（社会（歴史的分野））の採択について」審議及び採択を行います。

事務局の説明を求めます。

坂下剛教育センター主幹・指導主事

日程第4 議案第56号「吹田市令和3年度使用教科用図書中学校用（社会（歴史的分野））の採択について」御説明申し上げます。

答申の11ページを御覧ください。別表1-4、令和3年度使用教科用図書（中学校用）社会（歴史的分野）の選定具申の発行者順に御説明しますので、よろしくお願いいたします。

はじめに、東京書籍について御説明いたします。

28ページ・29ページを御覧ください。このように、一つの学習項目について、見開き2ページにまとめられております。中央に説明文、資料が周囲に配置されているとともに、毎ページ左下には日本の年表が掲載され、世界の歴史と、日本の歴史を関連付けて学習できるよう工夫されております。

また、29ページ右下には「チェック&トライ」として基礎的な内容の確認と発展課題が提示されておりますが、これは、単元の目標とリンクさせて単元学習の最後に必ず設けられており、ポイントを明確にして振り返りながら学習内容の定着と深化を図るために活用することができます。

さらに、分野関連マークによって地理分野・公民分野との関連が分かりやすく示されているほか、QRコードを通して他教科の教科書にリンクできる点など教科横断的な学習に役立つ資料が充実し、目標・内容の取扱い、内容の程度、補充・発展的な学習など幅広い観点においてバランスよく構成されています。

また、111ページを御覧ください。上段の「歴史にアクセス」では、伝統文化の観点から陶磁器が扱われていますが、随所に設けられているコラムでの説明が多面的・多角的で、生徒の興味・関心を高めるものとなっており、歴史的な見方・考え方を育むことができるよう、配慮されております。

次に、教育出版について御説明いたします。

まず、巻頭を御覧ください。左ページに「伝統や文化財が受け継がれてきたこと」、右ページに「歴史の中で変化が起こってきたこと」が整理されたか

たちで紹介されており、興味関心を高めることに加え、歴史の学習を進めていく方向性が示されています。また、豊富な資料が見やすくレイアウトされているとともに、見開きページごとに示されるタイトル設定に、生徒の興味・関心を引くための工夫が見られます。

次に、87ページを御覧ください。82ページから87ページまで、「中世の日本」について学んだあとに、中段右端に「3節をとらえる」として、その節でのキーワードを取り上げて自分の考えをまとめ、学習内容を深めるよう課題が設定されています。また、下段には、キーワードの例が示され、生徒の自主的な学習を支援しています。

次に、帝国書院について御説明いたします。

時代のまとまりごとに目標が設定され、生徒に分かりやすく明示されています。14ページを御覧ください。上段には章全体の問い「古代の国が成立するために重要なことは何か。」が示され、その下には節の学習内容に関する問い「世界各地の文明は、どのように成立し、発展したのだろうか。」さらに、その項目での学習課題として「人類は、進化の過程でどのように生活を変化させてきたのだろうか。」いうように、生徒が課題意識をもって学習に取り組むことができるような配列となっております。また、右端には日本の歴史年表が縦に示され、歴史の大きな流れを意識しながら学習を進めることができるよう、配慮されております。

次に、15ページ右下を御覧ください。「確認しよう」、「説明しよう」が設定されており、学習課題の振り返りとして、自分自身で確認することと、他者へ伝えるために内容を整理することという両面から学習内容の理解を確かめ、深めることができ、生徒の実態に応じて、活用しやすい構成となっております。

また、「未来に向けて」というコラムが43テーマ設けられております。たとえば、91ページを御覧ください。ここでは、河原者を文化と関連づけて取り上げており、部落差別などの歴史の中での人権問題や、世界平和についての記述や資料が充実していることも特徴の一つとなっております。

次に、山川出版について御説明いたします。

他の発行者が扱っていない資料が多く取り扱われ、それらの資料に関わる記述も多くなっています。197ページを御覧ください。地図や表・グラフで数値を読み取る資料が多く扱われ、見開きでの資料数も充実しています。また、212ページを御覧ください。見開きで年表と資料を国内と世界に分けて示すことで、学習の導入としてその時代の概要を考えることができます。

続いて、112ページ・113ページを御覧ください。見開きページで、学習内容や用語を幅広く扱い、多くの写真資料とともに説明が丁寧に記載されていることから、取り上げ方によって、多様な授業展開が考えられます。また、152ページを御覧ください。各章の最後に学習のまとめのページが設けられ、学習内容を整理することができるよう、配慮されております。

次に、日本文教出版について御説明いたします。

巻頭を御覧ください。日本文教出版では、「衣・食・住」といった観点から

歴史的な事象を現代の生活と結び付けて取り上げていることが特徴です。

また、歴史学習の進め方について、生徒のモデルによるセリフや、具体的な資料を使って、歴史的見方・考え方を促すよう工夫されています。

続いて、106ページ・107ページを御覧ください。折りたたまれている108ページ・109ページも含めて、単元の冒頭に実物大のものも含めた大きなサイズの資料があることによって、生徒自身が文化財から400年前の江戸の町の様子について読み取り、気付くことから興味関心を引き出し、単元学習を進めていくことができるよう、構成されています。

300ページから305ページを御覧ください。「災害の歴史」、「政治参加の歴史」、「世界平和への取り組みに学ぶ」などは、社会科の公民的分野の学習と関連させながら学習することができます。

続きまして、育鵬社について御説明いたします。

目次を御覧ください。授業で取り上げる学習内容に対して、ページ順に時系列で1から86まで通し番号がつけられており、全体の見通しと流れがつかみやすく配慮されています。

続いて、69ページを御覧ください。各章の始めに「歴史モノサシ」として、年表がページ上段に配置され、西暦、世紀が時代区分と合わせて表記されているため、時代の流れを把握しやすくなっています。

100ページを御覧ください。章単位の「学習のまとめ」が設定され、年表を通して必要な用語を確認する基礎基本から、資料を比較・分析して自分の考えをまとめる課題まで、生徒の実態に応じて活用しやすくなっています。

最後に、学び舎について御説明いたします。

製本サイズがA4判となっており、ゆとりをもったレイアウトとなっております。丁寧な説明とともに、資料や地図・年表等が大きく掲載されています。

また、資料や文化財が多く掲載されており、授業の導入で生徒の興味・関心を引き付け、さらに古文書や碑文の内容を読み取る力を育み、発展的な学習に取り組む意欲を高めることができます。例えば、66ページを御覧ください。百姓の訴え状の書き出しと1か条目が読み取りやすい大きさに掲載され、生徒の関心を高めることができるよう、工夫されています。

次に、105ページを御覧ください。室町時代の学習の振り返りとして、庶民の生活に焦点を当て、「洛中洛外図屏風」を詳細に見ることができるように工夫されていますが、このほかにも、荘園や村の自治、百姓一揆といった事象についても、民衆の視点から述べられた記述を含め、多角的に説明されており、生徒の見方・考え方を広げることにつながることができます。

それでは、審議に入ります。御意見、御質問はございませんか。

学習指導要領が変わりまして、その中で、主体的・対話的で深い学びの実現に向けてということで、各発行者がいろいろな工夫をされていると思うのですが、その中で特に特徴的なものがありましたら紹介してください。

各発行者とも、学習指導要領の改訂を受け、「主体的・対話的で深い学び」を通して、身に付けさせたい資質・能力を育成するために工夫がたくさん

原田勝教育長
谷口学教育長職務代理者

坂下剛教育センター主幹・指導主事

れております。その中でも特徴的なのは、教育出版、日本文教出版です。教育出版は、各章で「学習のまとめと表現」が設定され、授業で活用した歴史的事象や人物に関するキーワードを年表や地図で振り返り、キーワードを結び付けて整理する手法が提示され、自ら学び方を広げることができるようになっております。日本文教出版では、「チャレンジ歴史」をもとに、資料を活用し、立場による歴史的事象のとらえ方の違いを整理できるようになっております。

和田光代委員

歴史的分野が苦手な生徒も含めて、内容を理解しやすいように、どのように工夫がされていますか。

坂下剛教育センター主幹・指導主事

各発行者とも、現代と接点のあるテーマに関わる特集ページやコラムを取り入れるなど、学習内容の面から歴史に興味・関心をもてるよう工夫されております。記述内容の理解を支援するために、本文中の重要語句を太字で示しているのは、東京書籍、教育出版、帝国書院、山川出版、日本文教出版です。また、毎時の授業で各ページに年表を示し、どの時代を学習しているかを分かりやすくしている発行者は、東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版です。

和泉慎次委員

人権に関わる事象に関して、各発行者はどのように取り扱っておられるのでしょうか。

坂下剛教育センター主幹・指導主事

各発行者とも、部落差別や女性の権利、民族の問題等について、コラム記事や特集ページを組み、基本的人権を尊重する立場に立った内容を幅広く取り扱っております。

特に、東京書籍では、絵画や文献資料を示し、文化の多様性について考えることができるようになっております。

安達友基子委員

日本国憲法について、各発行者がどのように扱っているかを整理して説明してください。

坂下剛教育センター主幹・指導主事

各発行者とも、学習指導要領やその解説で、日本国憲法が平和や民主主義への期待などを背景に制定されたものであることを指導するように触れられておりますが、発行者によって、さまざまな表現の違いがございます。

東京書籍、教育出版、山川出版、日本文教出版は、民間などを参考にして作成された憲法と記述されています。

帝国書院では、改正案を4か月にわたる審議を経て、修正のうえ可決された憲法と記述されています。

学び舎では、憲法改正案をめぐる日本各地での動きについて詳しく記述されています。

育鵬社では、GHQの改正案に、議員は反対の声を上げることができず、ほとんど無修正のまま採択されたものと記述されております。

福田知弘委員

今後の国際社会の動きにつきまして、各発行者の取扱いで特徴的なものがあれば説明してください。

坂下剛教育センター主幹・指導主事

各発行者とも、近隣諸国との関係や国際平和に関する図、写真や人物、国際機関等の資料を紹介し、国際協調の精神や他者を思いやる豊かな人間性を育む工夫がなされています。

安達友基子委員

東京書籍、教育出版、帝国書院、学び舎では、持続可能な開発目標SDGsを取り上げています。その中でも教育出版は、歴史学習を踏まえて、一人ひとりが主体的に現代社会の課題を考察できるように示されております。

坂下剛教育センター主幹・指導主事

生徒自身が多面的・多角的に考察できるような工夫というのが見られる発行者があれば紹介してください。

各発行者とも学習指導要領やその解説に基づいて、生徒が歴史的事象を多面的・多角的に考察するために、比較したり、関連性を見出したりといった歴史的な見方・考え方を働かせるための工夫がなされております。

その中でも、特徴的なものとして、東京書籍と帝国書院が挙げられます。東京書籍では「まとめの活動」を行ううえで、生徒自身の思考を整理する手法として、くらげチャートの活用が提案されています。他にもXチャート、ウェビングといった思考ツールの活用方法が提示がされており、これらのチャートへの書き込みを通して、思考の流れを視覚化し、他者への発信も視野に入れた学習の過程を学ぶことができます。

原田勝教育長

帝国書院では、「多面的・多角的に考えてみよう」として、異なる立場の意見を考え、資料に基づく根拠を明らかにして考えていくことを通して、自分の考えを整理しやすくなっています。

他に何かございませんでしょうか。

質問が出尽くしたようですので、社会（歴史的分野）についての審議を終了いたします。

福田知弘委員

それでは、議案第56号「吹田市令和3年度使用教科用図書中学校用（社会（歴史的分野））の採択について」の各委員の御意見をお願いいたします。

私は帝国書院を選びました。

記述内容のバランスが非常に素直に書かれているなというのと、それから平和とか人権に関する取組は丁寧に述べられていると。それから、やはり年表とか図とか、グラフもそうですけれども、大きくてしっかり書かれていて、どんなことを考えれば良いか分かりやすいということです。

あと、知識の補完になるかもしれないのですけれども、タイムトラベルということで年代ごとに同じようなタッチで時代の変化が示されるというのも非常に分かりやすいかと。もちろん当時の写真なり図版は各者並べられているのですけれども、同じようなタッチで書かれているということで、見比べながら時代の変化が分かるのかなと思いましたので、帝国書院が良いと思いました。

和泉慎次委員

私は東京書籍を推薦したいと思います。

基礎的な内容の確認があり、また発展課題が提示され、学習内容が非常に分かりやすく配列されております。また、教科書の関連マークからQRコードを通して他教科へとリンクできる点等に工夫をされています。

また、部落差別、女性の権利などの全体にわたり網羅されている人権にも配慮されているという点から、東京書籍を推薦いたします。

和田光代委員

私は東京書籍が良いと思います。

理由としましては、人権的な配慮がされていますし、地理・公民の分野と

の関連が分かりやすくなっている点です。QRコードから読み取ることができ、深い学びができるのではと思います。

あと、学習したことを「チェック&トライ」で確認をするということができ、学習内容が定着できるのではということで東京書籍が良いと思いました。

安達友基子委員

私は東京書籍が良いと思いました。

理由はいっぱいあるのですが、まず1つ目として、私自身子供時代に、世界史と日本史の流れというのがなかなかリンクしなくて、すごくそこで混乱が生じていたのですけれども、御説明の中でもあったとおり、常に左下に日本の年表があるというのがすごく良いと思いました。

それと、歴史の教科書ですので、私としては事実をバランスよく記載してもらって、あと子供たちに考察させることを重視してほしいと思うのですが、そういう観点で書かれているように思いましたのと、憲法のところも各者、先ほど御説明いただいて、書きぶりには少しずつ違いがあったのですけれども、東京書籍は大日本帝国憲法と日本国憲法、こういう点でこう変わったという比較の表がついていて、とても中立で分かりやすいかなと思いましたので、東京書籍が良いと思いました。

谷口学教育長職務代理者

私も東京書籍が良いのではないかと思います。

全体的に写真が非常に見やすいことと、先ほどの説明にありましたけれども、各ページで日本の歴史と世界の歴史が対比できるという、もちろん他のところも近いところはあるのですけれども、東京書籍が非常によく分かるのではないかなと思いました。

私は個人的にいつも歴史の教科書を読むときに、江戸時代の身分の人口比率というのがどこの教科書にも書いてあるのですが、それをずっと各教科書がどのように記載しているのかということを見ていくと、各々の教科書の各々の考え方がある程度出てくると。そのような中で、東京書籍が一般的なものの考え方に近い物事の表し方ではないかと思いました。

原田勝教育長

私は帝国書院を選びました。

歴史の中での人権問題の記述や資料が充実しているなど感じたからです。また、グラフや図表が大きく掲載され、章のまとめが理解しやすいなど感じました。また、用語解説やコラムも充実していると思った次第です。

原田勝教育長

それでは、議案第56号「吹田市令和3年度使用教科用図書中学校用（社会（歴史的分野））の採択について」につきましては、東京書籍を採択することといたします。

原田勝教育長

ここで、教育委員会会議を午後4時14分まで休憩します。

－休憩－

原田勝教育長

教育委員会会議を再開いたします。

原田勝教育長

次に、日程第5 議案第57号「吹田市令和3年度使用教科用図書中学校用（社会（公民的分野））の採択について」審議及び採択を行います。

事務局の説明を求めます。

前田洋平学校教育室主幹・指導主事

日程第5 議案第57号「吹田市令和3年度使用教科用図書中学校用（社

会（公民的分野）の採択について」御説明申し上げます。

答申１３ページを御覧ください。別表１－５、令和３年度使用教科用図書（中学校用）社会（公民的分野）の選定具申の発行者順に御説明いたしますので、よろしくお願いいたします。

はじめに、東京書籍について御説明いたします。

全体を通して、資料が大きく、写真も豊富に掲載され、視覚的な情報を得ながら学習を進めることができるよう、工夫されております。

単元の終わりにはシンキングツールを使った振り返りがあり、考えを可視化し、課題を解決するための見方・考え方を段階的に育むことができるようになっております。

また、５０ページから５７ページを御覧ください。人権について学習する中で、例えば５５ページの「みんなでチャレンジ」では「自由」についてグループで話し合いながら考えを深める学習に活用できる内容が取り扱われており、５７ページ「公民にアクセス」というコラムで「働き方改革」に触れ、現在の課題と関連付けるなど、授業の内容を効果的に深め、主体的・対話的で深い学びの実現につながる工夫がされております。

人権尊重の内容については、４８ページから５３ページにかけて、ハンセン病や性の多様性、インクルージョン、在日外国人への理解など具体例を数多く記述しており、インターネットと人権や国際社会の中の人権上の課題についても様々な例を挙げております。現代的な人権や国際平和に関する学習の充実を図ることができる内容となっております。また、国民主権についても詳しく記述され、８７ページでは選挙で投票する以外の政治への参加方法も示すなど「主権者教育」についても記載されております。

次に、教育出版について御説明いたします。

現代社会に見られる様々な課題の解決に向けて主体的に関わろうとする態度を育成するような内容が取り上げられ、例えば、現代社会のグローバル化について学習する中では、１５ページから１７ページにかけて、外国人労働者や、SNS等についての課題も取り上げられております。

基本的人権に関わる内容が充実しており、４６ページから５２ページにかけて、人権尊重について、人々の努力で勝ち取られてきたものや、我が国が抱えている人権課題について多面的に扱い、５２ページ「共に生きる社会を目指す人たち」では識字学級やLGBTについてなど具体的な事象を多く取り上げ、さらに深く考えることができるよう配慮された内容となっております。

続いて、７３ページを御覧ください。平和主義の考え方や自衛隊について、多面的・多角的に考察できるよう、賛否両論が公平に取り上げられています。

また、各見開きの左側に小学校での学習内容や地理・歴史で学習した内容との関連事項を、右下にはSDGsとの関連事項が示されており、既習事項を相互に関連付けることができるよう、配慮されているほか、ディベート、シミュレーション、プレゼンテーション、レポート作成などのワーク「言葉で伝え合おう」や、グループワーク学習に使えるテーマが設定された「公民

の技」などが適所に配置され、主体的・対話的な学びの広がりが期待できます。

次に、帝国書院について御説明いたします。

1 ページを御覧ください。各章のはじめに、「学習の前に」のページが設けられ、町や店、地域などを俯瞰したイラストを見ての問いかけから始まり、分かりやすい導入となっております。また、3 ページのように、見開き2 ページの各単元の最初に「学習課題」が示され、4 ページ右下には生徒が自主学習を容易にできるような質問「確認しよう」、「説明しよう」が記載されるとともに、1 ページ「学習の前に」の図からポイントを再確認し、学習内容を振り返ることができるレイアウトとなっております。

また、コラムも充実しており、「アクティブ公民」で、「マンションの騒音問題」など具体的な問題の解決に向けて考えることができるよう工夫されているほか、「技能をみがく」では、ロールプレイングだけでなく、ディベートなど、様々なワークを示し、問題解決に向けた対話的な学びが実現できるよう配慮されております。

続いて、45 ページから48 ページを御覧ください。平等権や、差別の現実について取り扱う中で、「夫婦別姓の議論」や「ヘイトスピーチ」などが取り上げられており、また、49 ページの「偏見や差別をなくすために」では、自分の生活と照らし合わせて考えられる読み物として、同世代の生徒の作品が掲載されています。

次に、日本文教出版について御説明いたします。

58 ページを御覧ください。人権の保障については、「情報化と人権」で、「ネット社会」の便利さや問題点について分かりやすく説明され、「科学技術と人権」、「国際的な人権保障」というように、現代的な人権課題についても国内外を問わず、幅広く取り上げられております。

さらに、68 ページを御覧ください。現代社会に見られる様々な課題の解決に向けて、主体的に関わろうとする態度を育成するような内容として、「明日に向かって」では「15歳は『子ども』？それとも『大人』？」といった問いかけや「アクティビティ」では「携帯電話のルールづくり」などが取り上げられております。

また、120 ページのように章末の「学習の整理と活用」では、その章で使用された用語をまとめ、図と関連付けながら語句の意味を説明し、学習の定着に役立つようになっております。

続きまして、自由社について御説明いたします。

全体的には、個人と社会の関わりについて興味・関心を持ち、様々な社会的事象に関する情報を読み取り、まとめたりして表現する技能が身につくような内容の取り扱いとなっております。

ローマ数字の5 ページ、目次を御覧ください。全部で7章からなっており、特に経済の単元は、消費者についての内容が後半に示される等、独自の順で配列されております。

また、214 ページ以降には、「課題の探求」として「レポートと卒業論文

をつくろう」や「ディベートをやってみよう」、「ディベート実践例」などが掲載されております。論文の形式を使用したまとめ方を示すほか、ディベートに関して、どのように意見したり発問すればよいのか分かりやすく示されており、考えをまとめ、対話的な学習を実践することができるよう工夫されております。

最後に、育鵬社について御説明いたします。

全体として、各章のはじめは「〇〇の入り口」という内容の導入となっており、各章の終わりは「〇〇のこれから」のというように、これからの社会の展望が示される構成となっております。学んだことを今後どう生かしていくのかを考えるようなページが設けられております。

60ページを御覧ください。人権問題について「学習を深めよう」では、部落差別やハンセン病などの国内の具体的な人権問題等を取り上げていることに加え、70ページにございますように、これからの国際社会を生きる生徒が考えなければならない世界的な課題に関する資料が挙げられております。また、その中に「トライ」というコーナーが設けられ、それぞれの資料についてグループワークや調べ学習などで、さらに深く取り組むことができるようになっております。

また、74ページのように、章末の「学習のまとめ」では、重要語句のチェック欄と、重要語句をまとめた図や問いかけが示されており、復習やまとめに役立つ工夫もされております。

それでは、審議に入ります。御意見、御質問はございませんか。

生徒の主体的・対話的で深い学びを実現するような工夫には、どんなものがありますか。

どの発行者も主体的・対話的で深い学びが実現するように工夫されておりますが、特に教育出版の「言葉で伝え合おう」のページでは、ディベートやプレゼンテーションなどのワークが設けられています。また、「公民の技」ではグループ学習を促すテーマが設定され、主体的・対話的で深い学びの広がりが期待できます。

また、東京書籍では、「みんなでチャレンジ」として、グループ学習に利用することができるページが設けられており、「公民にアクセス」などのコラムは授業の内容を深めることに効果的に活用することができます。

人権の取り扱いについて各発行者はどのような取り扱いをされ、特徴がありますか。

どの発行者も人権課題について数多く取り上げてられおり、外国人労働者、女性の雇用等、現代的な人権課題についても考えられるようになっております。

特に帝国書院では「偏見や差別をなくすために」というページで、同世代の生徒の作品などから、自身の生活と照らし合わせて、気付かせるような読み物が取り上げられています。

また、教育出版では、差別のない、共に生きる、共に創る社会を構成するために、人権の歴史、民俗的な歴史、同和教育に関する出来事の歴史が示さ

原田勝教育長
和田光代委員

前田洋平学校教育室主幹・指導主事

和泉愼次委員

前田洋平学校教育室主幹・指導主事

れているとともに、現代社会が抱えている、外国人労働者、女性の雇用、非正規労働者の課題など、様々な視点から取り上げられております。

また、東京書籍では、ハンセン病と人権、インクルージョン、働き方改革、尊厳死をめぐる議論、オーストラリアのアボリジニの権利保障、性の多様性やインターネットと人権など、人権問題について様々な角度から取り上げられております。

安達友基子委員

平和主義について、各発行者でどのように取り扱われているか説明してください。

前田洋平学校教育室主幹・指導主事

平和主義についてでございますが、東京書籍では、人権尊重についての具体例を多く挙げる中で、平和主義に関する記述もあり、国際平和に関する学習の充実が図れます。

教育出版では、自衛隊の存在について、歴代の政府の「自衛のための必要最小限の実力」を保持することは憲法9条で禁じている戦力ではない、という見解とともに、「自衛のための必要最小限の実力」を超えるもので憲法に違反するという主張についても取り上げ、自衛隊や集団的自衛権についても、多面的で多角的に考察できるよう賛否両論が公平に取り上げられております。

帝国書院では、自衛隊の存在について、憲法前文や13条の平和的生存権、生命、自由に対する国民の権利に触れ、自衛のために武力を行使するのは、例外的に許されることと解釈されおり、必要最小限度の実力として自衛隊が組織されていると表現するとともに、これに対して自衛隊の設置が9条に適合しないという見解もあると表現しております。

福田知弘委員

生徒が課題の解決に主体的に関わることができるための工夫があれば、説明してください。

前田洋平学校教育室主幹・指導主事

どの発行者も社会に見られる課題の解決に向けて主体的に関わることができるように配慮されております。

特に、東京書籍では、「Dマーク」でウェブサイトの情報が活用でき、選挙のシミュレーションや円高・円安の影響などクイズ形式で学ぶことができ、興味関心を引き出すことができます。

また、帝国書院には、二次元バーコードがあり、映像に関連した項目を取り上げ、各章の振り返りの質問や問題も、二次元バーコードと関連付け、生徒が自学できるよう構成されております。

谷口学教育長職務代理者

特別支援が必要な生徒や支援学級の生徒にも分かりやすいような配慮がされている教科書はありますか。

前田洋平学校教育室主幹・指導主事

どの発行者も、見やすく分かりやすいように工夫がされております。

特に東京書籍では、カラーユニバーサルデザイン、ユニバーサルフォントに対応し、不要な陰影や立体感をなくすことで、フラットなデザインで集中しやすくなっています。

原田勝教育長

他に何かございませんでしょうか。

質問が出尽くしたようですので、社会（公民的分野）についての審議を終了いたします。

福田知弘委員

それでは、議案第57号「吹田市令和3年度使用教科用図書中学校用（社会（公民的分野））の採択について」の各委員の御意見をお願いいたします。

私は教育出版を選びました。

共に作る社会に向けて、国際社会、基本的人権などについて、公平にバランスよく記述され、構成されていると感じました。グラフなども非常に充実しておりまして、なかなか経験がない中で学ばないといけないことが多いと思うのですが、理解しやすい内容になっていると考えました。

和泉愼次委員

私は教育出版を推薦したいと思います。

集団的自衛権の行使であったり、また、自衛隊の問題について、多面的・多角的に考察できるような賛否両論を公平に取り扱われている点であります。また、生徒が関心を持つような問いかけに対して、イラストで示され、学習課題を具体的な内容で分かりやすくする学習が工夫されている点であります。

和田光代委員

私は教育出版が良いと思います。

理由としましては、基本的人権に関わる内容が充実しているということと、先ほども質問させていただきました、主体的・対話的な学びの広がり工夫がされているということで、教育出版が良いと思います。

安達友基子委員

私も教育出版が良いと思いました。

理由としては、先ほどから皆さんもおっしゃっているとおり、賛否両論が公平に取り上げられていて、特に公民については、できるだけどちらかに偏った意見ではなくて、情報としては本当にフラットなものを子供たちに与えたうえで、あなたはどうか考えるかというのを問うてほしいと思うところ、この教科書であればそれができるかなと思いました。

それと、この教科書「ともに生きる」という副題がついていましたけれども、そのとおりに、識字学級とかLGBTとかも、子供にとっても比較的身近なものについてもきちんと紹介されていて、とても良いなと思いました。

谷口学教育長職務代理者

私は日本文教出版が良いと思います。

全体的に教科書の中では見やすいということと、物事の持って行き方が独特の持って行き方で、わりと子供たちにとっても理解しやすいのではないかと思います。例えば先ほどの説明にもありましたように、「15歳は『子ども』？それとも『大人』？」という内容とか、この教科書の巻末にありますけれども、「日本の人口を100人に縮めてみると」というかたちで、いろいろな人口比率の中で日本の社会がどういうふうにあるかというのを一目瞭然である程度分かるというような取扱いの仕方等も含めて、なかなか面白い切り口ですし、もちろん最初にこれからの社会をどんな社会にしたいかという大きなテーマも書いているということで、日本文教出版が良いのではないかと思います。

原田勝教育長

私は教育出版が良いと思いました。

人権課題について多く扱っているということと、「公民の技」がなかなか良いと思いました。また、各単元のタイトルで学習内容をとらえやすく、先生方にとって授業に入りやすいのではないかと思います。

原田勝教育長

また、学習課題に対する具体的な内容が分かりやすく読み良いということ
を非常に感じました。ということで、教育出版が良いと思います。

それでは、議案第 5 7 号「吹田市令和 3 年度使用教科用図書中学校用（社
会（公民的分野））の採択について」につきましましては、教育出版を採択するこ
とといたします。

原田勝教育長

次に、日程第 6 議案第 5 8 号「吹田市令和 3 年度使用教科用図書中学校
用（地図）の採択について」審議及び採択を行います。

事務局の説明を求めます。

藤井大輔教育センター主幹・指導主事

日程第 6 議案第 5 8 号「吹田市令和 3 年度使用教科用図書中学校用（地
図）の採択について」御説明申し上げます。

答申 1 5 ページを御覧ください。別表 1－6、令和 3 年度使用教科用図書
（中学校用）地図の選定具申の発行者順に御説明しますので、よろしく願
いいたします。

まずはじめに、東京書籍、帝国書院ともに、巻頭に用意された地図の活用
方法の解説、地図と関連する資料ページの提示など、生徒の地図活用、主体
的な学びを支援する工夫がみられます。また、両者ともに、インターネット
で活用できるデジタル教材が用意されており、I C Tを活用した学習や自宅
での学習の学びの支援となる効果が期待できます。

その他の内容について、各発行者の特徴として、まず、東京書籍について
御説明いたします。

7 ページを御覧ください。7 ページから 1 4 ページまでにわたって、S D
G s が取り上げられており、「持続可能な社会」の実現のために何ができるの
かを考え、貧困、難民問題等の世界の諸課題について理解を深めることがで
きるようになっています。

次に、6 ページを御覧ください。下段に示されている例のように、歴史的・
公民的な学習と関連付ける資料が豊富で、地理だけではなく、歴史や公民の
学習にも活用できるように工夫されています。

2 9 ページ・3 0 ページを御覧ください。北極と南極も含めた縦向きの地
図によって、地球儀の代わりに大陸を大きくみとることができる地図が用意
されています。

次に、帝国書院について御説明いたします。

1 5 ページを御覧ください。1 5 ページから 1 8 ページまで、4 ページに
わたって、世界の生活、文化や各州の特色を示した地図を設けることで、他
国の理解と異文化の尊重を促すことができるようになっています。

2 2 ページを御覧ください。「地図活用」という問いが示されています。こ
のような問いが多く設定されており、資料活用の技能を向上させたり、地理
的な考察を促したりすることができるようになっています。

1 4 9 ページ・1 5 0 ページを御覧ください。日本各地の防災の資料が充
実しており、自然災害や防災への取組について考えることができるようになって
います。

1 0 7 ページを御覧ください。歴史上の出来事的位置などを解説する資料

原田勝教育長
和田光代委員
藤井大輔教育センター主幹・指導主事

によって、歴史的な学習と関連付けることができるよう工夫されています。
さらに、従来の横A版、縦B版サイズより、縦に大判化されたことによって閲覧できる地図の範囲が広がっていることも特徴に挙げることができます。

それでは、審議に入ります。御意見、御質問はございませんか。
生徒の地図活用の技能を高める工夫を具体的に説明してください。
両発行者とも、巻頭に地図記号と地図の活用方法についての解説をするページを用意しています。

また、東京書籍であれば「スキル・アップ」、これは学習課題を設定してあるのですが、それに加えてキャラクターが登場します。そのキャラクターたちによる生徒への呼びかけが挙げられます。

帝国書院については「地図活用」という、先ほど申し上げました「問い」が技能向上のための工夫に挙げられます。

谷口学教育長職務代理者

大阪府とか吹田市に関することはどのように記載されていますか。記載がありましたら紹介してください。

藤井大輔教育センター主幹・指導主事

東京書籍のほうは一般図に記載されております。また、都道府県の名所などを特集するページがございまして、こちらのほうでは、大阪府については日本一低い山、天保山などを紹介しています。

一方、帝国書院も一般図に大阪府、吹田市を記載しております。帝国書院につきましては、国立民族学博物館、パナソニックスタジアム吹田といった詳細な情報を記載しております。

安達友基子委員
藤井大輔教育センター主幹・指導主事

資料としての使いやすさや見やすさについて違いはありますか。
両発行者ともに、ユニバーサルデザインを採用しております。また、地名などにルビを表示しており、生徒は地名を読みやすくなっていると思います。また、東京書籍であれば地図情報に関連する資料のページを記載していることが挙げられます。一方、帝国書院であれば地図情報の凡例を地図の端に記載していることも使いやすさの工夫として挙げることができると思います。

原田勝教育長

他に何かございませんでしょうか。
質問が出尽くしたようですので、地図についての審議を終了いたします。
それでは、議案第58号「吹田市令和3年度使用教科用図書中学校用（地図）の採択について」の各委員の御意見をお願いいたします。

福田知弘委員

私は帝国書院を選びました。
豊富な情報が適度な量で、非常に分かりやすく表現されていると。それと、地域ごとに防災とか環境に関する問題とか、史跡とか名勝とかも取り上げられていて、イラストも含めて、身近に感じることができるというところで選ばせていただきます。

和泉慎次委員

帝国書院を推薦いたします。
各地の防災資料が充実しておりますし、また、自然災害の防災への取組について考えるような工夫がされています。それから、本の大判化によりまして、地図の範囲が広がっておりますし、世界遺産あるいは歴史的な遺産、特に吹田のことについても掲載されている点でございます。

和田光代委員	私も帝国書院が良いと思います。 理由としましては、教科書のサイズが大きくなり、地図が見やすくなったということと、分かりやすく地図が見れるように詳細図やイラスト、鳥瞰図など、特色を捉えやすくなっているということと、あと、「地図活用」のコーナーですね、地図の読み取り技能の向上、見方・考え方の育成ができるということで、私は帝国書院が良いと思います。
安達友基子委員	私も帝国書院が良いと思いました。 理由としては、まず大きくて見やすいというのが第一なのと、あと資料についても、他国の理解、異文化の尊重というのを促すようなものや、日本の防災についての資料などもありますので、そういったものの配置が適切だと思いました。
谷口学教育長職務代理者	私も帝国書院が良いと思います。 大きくて見やすいなどいろいろな理由があるのですが、これは前回の東京書籍にも書いてあったのですが、先ほどの大阪に関する記載に関して、「都道府県の産品と名勝、お国自慢など」で、大阪府は「日本一低い山天保山」と書いていただいて、隣の兵庫県が世界遺産の姫路城、京都府が天橋立。まあ、大阪府民としてはやはりこれを見て喜ぶ人はそんなに多くはないと思うのですが、前回も今回も書くというのは行き過ぎではないかなと思います。
原田勝教育長	私も帝国書院が良いと思います。 先ほどから御意見が出ていますように、大きくなったと、大きくて見やすい、色合いがはっきりしているということと、問いが多く設置されており学習に活用できるということ、また統計資料も豊富に掲載されていますので、帝国書院が良いと思います。
原田勝教育長	それでは、議案第58号「吹田市令和3年度使用教科用図書中学校用（地図）の採択について」につきましては、帝国書院を採択することといたします。
原田勝教育長	ここで、教育委員会会議を午後4時53分まで休憩します。
原田勝教育長	—休憩—
原田勝教育長	教育委員会会議を再開いたします。
原田勝教育長	次に、日程第7 議案第59号「吹田市令和3年度使用教科用図書中学校用（数学）の採択について」審議及び採択を行います。
	事務局の説明を求めます。
向垣内純平学校教育室主幹・指導主事	日程第7 議案第59号「吹田市令和3年度使用教科用図書中学校用（数学）の採択について」について御説明申し上げます。 答申17ページを御覧ください。別表1-7、令和3年度使用教科用図書（中学校用）数学の選定具申の発行者順に御説明しますので、よろしくお願いいたします。 まず、どの発行者も、視覚的支援の1つとして、QRコードを活用したデジタルコンテンツが用意されています。特に図形の単元や、データの活用の単元では生徒の視覚的理解のため、効果的に活用できるように工夫されてい

ます。

まず、東京書籍について御説明いたします。

第1学年の教科書を御覧ください。導入に、物を作るときの必要な材料について考えるなど、日常生活に関係のある内容が示されており、実際に考えたり、活動したりできるようになっています。

9ページからを御覧ください。第1学年には、0章が設定されており、小学校からの連携に配慮することで、つまずきをなくすよう工夫されています。

次に、182ページを御覧ください。「学びをひろげよう」では、実社会で数学が活用されている場面を各学年で紹介し、数学の有用性を伝えています。

この後の発行者につきましては、第3学年の教科書を使って御説明いたします。

大日本図書について御説明いたします。

全体を通して、学習のまとまりごとにめあてを示し、導入では、イラストや写真から考えたり、ゲーム形式で考えたりすることによって、関心を持たせて学習に取り組みやすくなるよう工夫されています。

「たしかめよう」というコーナーを設け、学習内容を復習する問題を取り扱い、「活用・探求」、「学びにプラス」、「力をのばそう」で発展的な問題を取り扱うなど、生徒の理解度・定着度に応じた様々な課題に取り組めるように配慮されています。

77ページを御覧ください。各領域に「社会にリンク」というインタビュー記事が提示され、数学を学ぶことの良さを実感できるよう工夫されています。

続きまして、学校図書について御説明いたします。

巻頭のコラム「数学の力」で、数学の力を活用している人を取り上げており、キャリア教育の視点で数学を捉えられるようになっています。

また、248ページを御覧ください。「今の自分を知ろう」のように、既習の内容が、他の教科でも役立っていることが分かるように示されており、教科横断的に学習を進めることができるよう配慮されています。

さらに266ページを御覧ください。「高校へのかけ橋」では、高校の内容に触れることにより、今後の数学の有用性を実感する工夫がされています。

続きまして、教育出版について御説明いたします。

学習のまとまりごとに「めあて」が明確に記されており、学習している内容や身に付けるべき力を意識しやすいように作られています。

節ごとの「基本の問題」で基礎的な内容を定着させるよう配慮され、「数学のひろば」や「ひろがる数学」では高校の学習内容に触れるような発展的な問題も取り扱われ、より理解を深めることができる内容になっています。

11ページを御覧ください。『数学的な考え方』のまとめ」として、折り込みを効果的に使い、数学的な見方・考え方の一覧がどのページを学習している時にも確認できるよう工夫されています。各ページの側注には考え方や着眼点が掲載されているだけでなく、生徒が考えたことを書き込むことができるスペースがどのページにも設けられ、生徒がどのような考え方をすれ

ばよいのか、主体的に考えながら学習を進め、自身が考えたことを振り返ることができるような構成となっております。

また、240ページを御覧ください。「学びのマップ」で既習事項と第3学年の各章での学習内容とのつながりが示され、復習しやすくなっております。

続きまして、啓林館について御説明いたします。

「みんなで学ぼう編」と「自分から学ぼう編」の2部構成となっております。「みんなで学ぼう編」では、各章の導入で、日常にある題材や実生活との数学のつながりを感じながら学習に取り組み、例題から少しずつ段階を追って考え方の基礎が定着するような工夫がされております。

後ろから開きました41ページ・42ページを御覧ください。「自分から学ぼう編」では、身の周りの現象を題材とした問題や、他教科と関連付けた総合問題に取り組める内容があり、主体的に課題を発見し、解決する力を育むような工夫がされています。

続きまして、数研出版について御説明いたします。

各章、既習内容について振り返ることができるようになっており、新たな学習内容に取り組みやすく配慮されております。また、別冊の「探求ノート」で数学的な見方・考え方を育むよう工夫されており、高校の内容にも触れるような発展的内容を通して、知識だけではなく問題解決力を高めることができるようになっています。

233ページからを御覧ください。この「数学旅行」では身近な数学の活用や歴史を紹介しており、数学の有用性を見つけ、他教科とのつながりについても理解できるようになっております。

最後に、日本文教出版について御説明いたします。

各章の導入では写真や歴史などから学びの必然性を紹介して、関心を持たせる工夫をしています。

38ページを御覧ください。左下にあります「説明できるかな？」のように、章末には学習した内容について説明する問題があり、知識のみでなく数学的思考力や、表現力を付けることができるように設定されています。

214ページを御覧ください。「数学を仕事に生かす」では仕事や日常生活に数学がどう活用されているか紹介されており、生徒の興味・関心を高め、学習意欲の向上につなげるための工夫がされています。

それでは、審議に入ります。御意見、御質問はございませんか。

小学校から中学校へ進学し、小学校の算数から数学へと変わる中で、取り組みしやすいような工夫がされているのはどの発行者ですか。

東京書籍、大日本図書、教育出版につきましては、1年生の最初の学習内容としまして、正負の数からスタートするのではなくて、素因数分解のような、小学校での既習事項の発展的内容から取り扱い、生徒が取り組みやすいような工夫をしております。

数学は苦手な子供が多いと思うのですが、その苦手な子供たちへの手立てとして特徴的な工夫をされている発行者はありますか。

教育出版では、「学びのマップ」といわれる巻末の部分に、前学年までの内

原田勝教育長
和泉慎次委員

向垣内純平学校教育室主幹・指導主事

谷口学教育長職務代理者

向垣内純平学校教育室主幹・指導主事

	容が記載しておりまして、例題なども含め、単元のつながりを理解しやすく工夫されております。 また、大日本図書では巻末の折り込みに各学年のまとめがあり、第1、2学年分に関しましては切り離すことで冊子にして、第3学年でも使用できるようになっております。
安達友基子委員	数学的な活動の楽しさや数学の良さというのを実感できるように、各発行者で工夫されていることを紹介してください。
向垣内純平学校教育室主幹・指導主事	各発行者とも、QRコードのデジタルコンテンツを使い、視覚的に確認できることや、データの活用を、ただ計算することを目的とするのではなく、表やグラフを作成することで表現力を向上させ、それを用いて議論、検討できるようになっております。 特に、大日本図書に関しましては専用のアプリを利用し、教科書紙面をアプリのカメラで読み取れば、関連する情報を見ることができるよう工夫もあります。 また、啓林館はデジタルコンテンツを利用できる個所がかなり多く用意されています。
和田光代委員	数学を生活に生かし、自ら問題解決に向かう力を育成するような工夫はされていますか。
向垣内純平学校教育室主幹・指導主事	各発行者とも、導入では身近な身の回りの内容を取り扱うことによって、考えるように工夫されております。その中でも、学校図書、教育出版、数研出版、日本文教出版では、既習事項からさらにその内容を使ったうえで高校数学へ発展させることで、自ら考え、自ら解くことができるような問題を取り扱っており、今後のことを踏まえたうえで問題解決できるような考え方を養えるようになっております。
福田知弘委員	論理的に考察をしたりとか、数学的な事象を表現したりする力を育成するための各発行者の工夫があれば紹介してください。
向垣内純平学校教育室主幹・指導主事	各発行者とも、発表や表現する問題が増えておりますが、教育出版では、巻頭の折り込みを使い、どの単元でも、考え方に注目させることができるような工夫がされております。 また、日本文教出版では章末の問題で「説明できるかな」というような、考え方を常に考えるようになっています。 数研出版では、別冊の「探求ノート」を利用してワークシート形式で問題発見から解決までの流れで学習できるようになっています。
原田勝教育長	他に何かございませんでしょうか。 質問が出尽くしたようですので、数学についての審議を終了いたします。 それでは、議案第59号「吹田市令和3年度使用教科用図書中学校用（数学）の採択について」の各委員の御意見をお願いいたします。
福田知弘委員	私は教育出版を選びました。 学習には取り組みやすい構成だとされていて、具体的には、ねらい、例題、たしかめ、ふりかえり、とステップバイステップで構成されているということと、それから数学的な考え方となるようなヒントですね、いろいろな解き

方があるということを紹介してくれている。巻末に英語の表記もされていて、こういうのは実はプログラミングとつながったりしますので、非常に多面的に学びやすい教材になってくるのではないかとということで、教育出版を選びました。

和泉慎次委員

教育出版を推薦いたします。

中学校の第1学年では小学校での内容から発展させて、中学校へスムーズに移行できるような単元設定に工夫がされています。また、「広がる数学」の部分では、高校の内容にも触れることができ、実力問題等の発展的な問題にも多く取り上げられている点、そういった点が良いと思います。

和田光代委員

私は教育出版が良いと思います。

理由としましては、書き込めるスペースが各ページに設けられているということと、「学びのマップ」で前の学年までの学習した事項と本学年とのつながりが示されているということと、前の学年で学習したことがコンパクトに分かりやすくまとめてあり、理解度に応じた復習に取り組むことができるということ、それと発展的な問題も多く取り扱っているということで、教育出版が良いと思います。

安達友基子委員

私も教育出版が良いと思いました。

私は、公立の中学校ですので当然数学が得意な子も苦手な子もいるという中で、そのどちらにとっても使いやすい教科書はどれかなというふうに見てきました。そうしたところ、教育出版は「実力アップ問題」などで発展の部分の問題もかなりありますし、一方で「学びのマップ」のように、やや苦手な子供にも使いやすいような配慮もなされていて良いのではないかと思います。

谷口学教育長職務代理者

私も教育出版が良いのではないかと思いますので、1年生の初めにまず何を読むかということ、書きぶりは各々で、算数から数学に変わったということが書いてあるわけですが、その書き出しがやはり、教育出版は「算数から数学へ 学びのスタイルをひろげよう」という形で、要するに、みんなに分かってもらえるように、一步一步学習を進めていくように、この教科書を作成しましたというかたちでずっと書いてあるわけです。これを読んでも、先ほどの「学びのマップ」に代表されるように、苦手な子供を作らないようなかたちでの数学の授業を進めていきたいなというのがありありと見える感じがしますので、教育出版を推したいと思います。

原田勝教育長

私も教育出版が良いと思いました。

意見としては皆さんと同じような意見になるのですが、教科書の向かって右側に縦にブルーの線が入ってしまっていて、メモを取るのに非常に便利だなと思いました。また、先ほども話がありましたけれども、巻末の「学びのマップ」で生徒が理解度に応じて復習しながら学習に取り組むことができるように工夫されているなど。また、同じページの見やすいように、色分けが分かりやすいと思いましたので、教育出版ということでございます。

原田勝教育長

それでは、議案第59号「吹田市令和3年度使用教科用図書中学校用（数学）の採択について」につきましては、教育出版を採択することといたします。

原田勝教育長

園田章教育センター主幹・指導主事

す。

次に、日程第8 議案第60号「吹田市令和3年度使用教科用図書中学校用（理科）の採択について」審議及び採択を行います。

事務局の説明を求めます。

日程第8 議案第60号「吹田市令和3年度使用教科用図書中学校用（理科）の採択について」について御説明申し上げます。

答申19ページを御覧ください。別表1－8、令和3年度使用教科用図書（中学校用）理科の選定具申の発行者順に御説明しますので、よろしくお願いいたします。

はじめに、東京書籍について、御説明いたします。

東京書籍は「レッツスタート」や「Before & After」等のコーナーを設け、生徒自身が主体的に考え、学習の前後で生徒自らの成長や達成感を感じることができるように工夫されております。

また、学習内容に関連する多彩なコラムを設けることにより、日本の持つ科学技術や、日常生活と学習内容とを結び、科学を身近に感じさせるような工夫が見られます。

つまずきやすい内容に対しては「例題・練習・確認」や「考え方」として丁寧な解説を設けており、基礎基本の定着がしやすい構成となっております。

教科書がスリムなことも特徴のひとつでございまして、現行の東京書籍の教科書と比較いたしますと、横幅はそのままで、縦に約40mm大きくなっております。1年生の教科書177ページを御覧ください。縦に大きくなりました結果、この実験のページのように、ページが変わることなく縦に手順を確認することが可能となっております。また、図や挿絵、写真も大きく掲載されている一方で、紙自体の軽量化により全体として前回分から約14%の重量減となっております。

続きまして、大日本図書について御説明いたします。

実験・観察においては、冒頭に「目的」と「着眼点」が明示されており、何のために実験を行うのか、何を学ぶのかを理解したうえで、取り組める構成となっております。

また、単元冒頭に、関連するダイナミックな写真や図とともに、「これまで学習したこと」、「これから学習すること」が併記されており、生徒が見通しをもって学習できる工夫がされております。

さらに、学年や発達段階に応じた考えを深めるため、工夫がございます。具体的には、探求の過程の中で各学年重視することがマークで示されております。例えば、1年生の167ページを御覧ください。赤塗りで強調された「問題を見つけよう」というマークで課題提示を行ったのち、次のページの実験後「結果から考えよう」が表記されております。

一方、3年生の76ページを御覧ください。3年生になりますと、先ほどのマークが「問題を見つけよう」、「計画を立てよう」から次のページの「結果から考えよう」、「振り返ろう」となっており、この「振り返ろう」のマークが赤塗りになっております。このように、学年が上がるにつれて、ステッ

プアップし、発達段階に応じた思考を促すようなマーク付けの工夫がされております。

次に、学校図書について御説明いたします。

学校図書の教科書は水色の「資料」のマークが散見され、日常と関連させた事項を随所に取り上げ、自然に対する興味関心を高める工夫がされております。

また、各単元の導入時に、「学びのあしあと」として既習事項について定着の具合を図ることができるようなつくりとなっております。

学校図書の特徴のひとつといたしまして、単元ごとに「Can-Do-List」という項目がございます。新学習指導要領の3観点に基づき、どのような力をつけることを目標としているかを明確に示しております。例えば、1年生の22ページを御覧ください。「Can-Do-List」が掲載されておりますが、新学習指導要領の育成すべき資質能力の3つの柱に対応する形で「どのように学びに向かうか」、「どのような知識・技能を身につけるか」、「理解していることをどのように使うか」を各章に落としこみ、例示しております。従いまして、生徒はその単元において身につけるべき資質・能力を意識したうえで学習に取り組むことができます。

1年生の59ページを御覧ください。章末には自己チェックができるように、練習問題が掲載されているとともに、QRコードが設けられておりまして、資料を確認できるように配慮されておるのも特徴の1つでございます。

次に、教育出版について御説明いたします。

教育出版では、巻頭の「探求の進め方」に対応させる形で巻末の「自由研究の紹介」や、学年全体に関わる資料等、学習の幅を広げる資料が充実しております。また、観察や実験を安全に実施できるような安全マークが多数用意されており、安全配慮を行うとともに、生命を尊び、環境の保全に寄与する態度を養いながら、学習したことを活かした知識として活用できるように配慮されております。

また、2年生の150ページを御覧ください。高等学校の内容も一部含んだ発展的なコラムを随所に設けることにより、実生活や実社会とのつながった、発展的で幅の広い教養が身につくような工夫がされております。

また、各単元の最後に「要点と重要語句の整理」という項目で、要点や重要用語を太字で目立つ色を用いた穴埋め形式でまとめておりまして、基礎基本の定着、自宅での復習にも活用しやすい構成となっております。

最後に、啓林館について御説明いたします。

各単元の導入時にインパクトのある写真とともに、「学ぶ前にトライ」、「学んだ後にリトライ」と、学習の前後で同じ設問を行うことにより、学びの深まりを実感できるような工夫がされております。

啓林館の特徴のひとつが「探Q実験」という項目の実験が、各分野で設定されていることでございます。3年生の教科書の23ページを御覧ください。御覧いただいている実験が「探Q実験」に該当する内の1つでございます。仮説や計画などを生徒自身が考え取り組みやすい題材がピックアップされて

おります。さらに巻末に付随している「探Qシート」を併用することにより、探求の過程を自由に書き込むことができ、生徒が主体的に考えられるような工夫がされております。また、そのシートの裏面等には「探Qラボ」として、探求をサポートするようなツールやQRコードが設けられており、誰もが探求的に、そして深く学べる構成となっております。

また、各単元末にございます「みんなで探Qクラブ」という項目では、身のまわりの疑問に対して、その単元で習得した知識や技能等を統合して取り組める実験例が多く掲載されており、全体的に「探求」に重きをおいた構成となっております。

また、いずれかの学年の目次を御覧いただければと思うのですが、
「〇〇ラボ」として日常生活と学習したことを結びつけるような、多彩なコラムが設けられておりますことも特徴の1つでございます。

最後に、気を付けたい実験操作、薬品の取り扱いなど、3年間共通して必要となる注意が紹介されております。また、観察・実験を進めるうえで注意が必要な個所には、注意文や安全のためのマークが記載されておりますので、非常に視覚的にも分かりやすい構成となっております。

それでは、審議に入ります。御意見、御質問はございませんか。

理科嫌いや理科離れということが言われておる昨今ですが、生徒が興味関心を持てるような工夫がなされている発行者はどこですか。

どの発行者におきましても、写真やイラスト等を工夫することにより、興味や関心を高め、主体性をもって探究的にできるような活動が設定されております。また、今回の教科書採択に伴い、いずれの発行者におきましてもQRコード等、デジタルコンテンツの提供を行っておりますが、特に啓林館はQRコードから動画へのリンク等、多種多彩なコンテンツが設けられておまして、生徒の興味をひきつけるような工夫がされております。

理科の学習においては、子供たちは実験や観察を楽しみにしていると思うのですが、発行者ごとに取り扱いの数や種類等に違いがあるのかどうか説明してください。

3年間を通しての実験項目数はどの教科書も70種類以上と大きな違いはございませんでした。具体的には学校図書は71種類、教育出版は73種類、大日本図書及び啓林館は76種類、最多は東京書籍の78種類でございました。また各実験の流れは、東京書籍がA4スリム版ということもあり、一連の流れが確認しやすい構成となっております。また、啓林館も探求的な活動がしやすい内容を抜き出した「探Q実験」という項目を設けておまして、生徒が主体的に実験を行うことができるような工夫がございました。

理科を学ぶ醍醐味としまして、疑問を持つ、調べる、そして深めるというループというか流れが大切だと思うのですが、観察とか実験で生徒が主体的に考えることや深めることの取り上げ方が、特徴的なものはありますか。

啓林館の「探Q実験」として取り上げられております実験は、巻末に付随しております「探Qシート」であるとか「探Qラボ」、そこに記載されている

原田勝教育長
和泉愼次委員

園田章教育センター主幹・指導主事

安達友基子委員

園田章教育センター主幹・指導主事

福田知弘委員

園田章教育センター主幹・指導主事

	QRコード等をあわせて活用することにより、生徒自身がその事象に疑問をもちながら、仮説や計画などを生徒自身が考えることを支援しております。 また、教育出版も、例えば1年生の140ページ左上のように、各単元に1ないし2か所、生徒の探求心、資質能力を効果的に育成できるような「疑問から探求してみよう」という項目として、生活経験や既習事項などを元に探求的に学ぶ項目を設けているのが特徴でございました。 近年というか今月に入ってからでもそうですが、本当に大雨で、災害に見舞われている現状なのですが、そういった災害とかあるいは防災教育について特徴的な教科書はありますか。 3年生の「人間と自然」という単元にて、自然災害についての取り扱いが定められておりますので、いずれの発行者におきましても取り扱いがございました。特に啓林館につきましては、3年生の単元で、自然災害や自然環境について、未来志向でどのように考えるかを提示していることに加えて、単元末にはサイエンス資料として、もしくは先ほど目次を御覧いただいたと思うのですが、〇〇ラボの内、「防災・減災ラボ」というコラムを多数設けておりますので、理科に関連付けた防災教育を多様に取り扱っております。 自然環境や環境問題に関する掲載で、特徴的なものはありますか。 いずれの発行者におきましても、3年生の最後の単元にて、環境について、視覚的にインパクトのある写真等とともに、十分に取り扱っております。中でも大日本図書は、例えば3年生の教科書の324ページをはじめ、学年を超えて、持続可能な開発目標（SDGs）でございますとか持続可能な開発のための教育（ESD）の基本的な考えに配慮した掲載がされております。 他に何かございませんでしょうか。 質問が出尽くしたようですので、理科についての審議を終了いたします。 それでは、議案第60号「吹田市令和3年度使用教科用図書中学校用（理科）の採択について」の各委員の御意見をお願いいたします。 私は啓林館が良いと思いました。 各者、身の回りの疑問について考えさせるような設問が用意されているなと思ったのですが、その中で啓林館のものは「探Qシート」、先ほど説明いただきましたけれども、これを活用することによりまして、「課題」、「仮説」、「計画」、「結果」、「考察」、こういった順序立ててまとめていく、進めていくということを学びつつ、安全に注意しながらも取り組みやすい工夫がなされているというふうに感じた次第です。 QRコードからの動画の内容も非常に分かりやすいと思いました。 私も啓林館を推薦したいと思います。 各単元の初めに写真や疑問、あるいは考えさせられる設問、学習の振り返りなどの、生徒自身が学習の過程を実感できるような工夫をされておること、また、QRコードで動画を見ることができ、内容を分かりやすく設定・工夫されているところです。 私も啓林館が良いと思います。 理由としましては、写真やイラストが特に大きく細部まで描かれていまし
谷口学教育長職務代理者	
園田章教育センター主幹・指導主事	
和田光代委員	
園田章教育センター主幹・指導主事	
原田勝教育長	
福田知弘委員	
和泉慎次委員	
和田光代委員	

て、分かりやすいということと、興味・関心が高められるような、日常生活や社会に関連したようなコラムが多く掲載されています。そういったことで科学を身近に感じることができるのではないかとということで、私は啓林館が良いと思います。

安達友基子委員

私も啓林館が良いと思いました。

理科は子供たちがいかに苦手意識を持たずに取り組めるかというのがすごく大事なのではないかと思うのですが、先ほどから出ている「探Q実験」のところもすごく面白いですし、あとコラムの「〇〇ラボ」というのがたくさんあって面白くて、「お料理ラボ」というのが教科書に載っているのだというのもすごく衝撃的だったのですが、この「お料理ラボ」のすぐ横には発展のコラムでI P S細胞が載っていたりとかですね、とても子供たちが興味を持って、かつ科学に対する意識を高められるようなものがたくさん載っている、これが良いのではないかと思います。

谷口学教育長職務代理者

私は東京書籍が良いのではないかと思います。

大きくなった分だけ、それぞれの話の内容がそのページページで分かりやすく完結しているというのが一つと、その背景にある内容もしっかりしている。図・絵に関しても写真に関してもきれいであるということも選んだ理由です。

それと、1年生の最後のところに、「目安となる数値を知ろう」というなかに、「だまされやすいキミの脳のために」という、アンカリング効果のことを書いてあるわけなのですね。

こういったことを、やはり理科というものを学ぶ前に、人間の脳がいかに騙されやすいかということ子供たちに知らせることも新しい科学を知る上では大切ではないかなということです。そういったことはあまり他には記載していませんでしたので、東京書籍が良いのではないかと思います。

原田勝教育長

私は啓林館が良いと思います。

各単元において、写真とともに、「学ぶ前にトライ」で身の回りの疑問を考えさせる設問があり、その単元の学習後に「学んだあとにリトライ」ということで学びの深まりができるということと、「探Q実験」という項目が各分野に設定されて、生徒が自分の考えをもって活動しやすい実験が取り上げられている点を良いと思いました。

原田勝教育長

それでは、議案第60号「吹田市令和3年度使用教科用図書中学校用（理科）の採択について」につきましては、啓林館を採択することといたします。

原田勝教育長

本日の議事日程はこれで終了いたしました。

次の会議は7月30日の午後2時30分の再開といたしますので、御参集願います。

それでは、これをもちまして本日の会議を終了します。

閉 会 午後5時35分